

地域と共生するFFG

みつ い まつ しま

三井松島

ホールディングス

株式会社



代表取締役社長

よし おか たい し

吉岡 泰士 氏

大牟田市

取引店：十八親和銀行 福岡営業部
福岡銀行 本店営業部



大牟田市に新たな観光コンテンツが誕生。

明治時代建築の歴史ある迎賓館で

極上フレンチとプロジェクションマッピングを堪能。

築およそ115年にもおよぶ「三井港倶楽部」

は、福岡県大牟田市の指定有形文化財であり、明治時代の華やかな迎賓館の面影を今に伝えています。2024年5月18日、その歴史ある建物において屋内の壁面やテーブルを活用した幻想的なプロジェクションマッピングの演出とともに、料理の鉄人監修の高級フレンチを堪能する『美食と映像のマリアージュ 極上のフレンチWithプロジェクションマッピング』が、スタートしました。

この食と歴史・文化を掛け合わせた全く新しい観光コンテンツは今後、大牟田市の地域振興・発展の大きな起爆剤となることが期待されています。このコンテンツが生み出された背景について、企画・運営する三井松島ホールディングス株式会社の代表取締役社長・吉岡泰士氏に話を伺いました。

石炭事業からの撤退

M&Aによる新たな事業の創出

三井松島ホールディングスは、長崎県で1913年に創業した松島炭鉱株式会社由来します。松島炭鉱は1935年に閉山しますが、その後は、大島炭鉱や九州最後の炭鉱となった池島炭鉱を開発し、採掘を続けました。また、三井松島オーストラリア社を設立し、海外での採掘にも進出しています。しかし、時代の波とともに2023年7月にオーストラリアでの採掘事業も終え、2024年3月期に祖業である石炭生産・販売事業の幕を閉じました。

石炭事業一本からの脱却を図り、創業100年である2013年を機に



吉岡社長

M&Aに取り組みました。日本ストロー株式会社、株式会社明光商会の株式取得、子会社化などをはじめ、企業買収などを続け、収益基盤の安定化・多様化を進めています。これまでに取得した事業は、飲食用資材、シュレッダー、感熱紙レジロール、水晶デバイス製造装置、産業用チェーンなど多岐にわたっています。2018年には、現在の「三井松島ホールディングス株式会社」に商号変更し、持ち株会社制に移行しました。

三井財閥の歴史的遺産 「三井港倶楽部」の運営を継承

「三井港倶楽部」は、1908年に誕生し、三井財閥の総帥も務めた團琢磨^{だんたくま}氏が三池港の開港に合わせて建築しました。当初は、外国高級船員の宿泊・接待の場、皇族・経済界の迎賓館として活用されたところです。福岡県大牟田市の有形文化財と経済産業省近代化産業遺産の指定を受け、明治を代表する西洋建築の美しい建物として、石炭産業の歴史を伝える貴重な遺産となっています。

2004年、三井鉱山の経営難によって閉館になったところ、この建物を残したいという大牟田市民約3万人からの署名と、地元経済界有志の出資によって、2005年に「株式会社 港倶楽部保存会」が設立、営業を再開しました。

しかし、これらの歴史的な建物は維持管理や修繕にかなりの費用がかかることから、事業継続を条件に保存会は、譲渡先を探すことになったのです。その時に手を挙げたのが、私たち三井松島ホールディングス(当時は三井松島産業株式会社)でした。

私たちが所有していた炭鉱は長崎県ですが、実は大牟田とはご縁がありません。しかし、同じ三井系の三井三池炭鉱にゆかりがある建物であることから引き受けしました。趣のある大変美しい洋館ですので是非多くの方に訪れていただきたい。それが大牟田市の観光振興にもつながれば喜ばしいことです。



三井港倶楽部外観

料理の鉄人監修の 高級フレンチレストラン・ 結婚式場として再出発

私は2013年に入社し、2018年には常務執行役員経営企画部長を務めていました。「三井港倶楽部」を今後どのように運営する



提供されるフランス料理のイメージ写真

かを任された時に、これだけの歴史ある建物ですので「まずは観光資源として復活させたい」と考えました。

大牟田市の指定有形文化財として歴史的に重要な部分はそのままに、でき得る範囲で

内装の修繕と提供する料理の改革に取り掛かりました。厨房は、本格的なフランス料理を提供できるよう全面的に改装。料理の監修は、「料理の鉄人」で知られる坂井宏行^{さかいひろゆき}シェフにお願いし、高級フレンチレストラン・結婚式場として再出発しました。

しかし、いよいよ再スタートという時に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛、更に「令和2年7月豪雨」によって大牟田市内が被害を受け、その影響で、我々も営業自粛を余儀なくされました。業績が厳しいことはもちろん、「歴史的価値の高い建物の中で本格フレンチが楽しめる」と大々的にアピールしたくともできない状況が続き、非常に苦しい思いをしました。

コロナ禍を乗り越え

アート映像が融合した
美食と映像が融合した

新たな観光コンテンツが誕生

このままでは経営的に厳しくなるばかり…という中で、中堅の社員たちが知恵を絞り考えたのがプロジェクトマッピングを活用した

新たな取り組みでした。映像については、エンターテインメント性の高いプロジェクトマッピングに実績がある福岡の制作会社「モンブラン・ピクチャーズ株式会社」に依頼しました。



プロジェクトマッピングに連動してフランス料理が提供される

その素晴らしい映像と美食とのコラボレーションで誕生したのが、2024年5月18日からスタートした『美食と映像のマリアージュ 極上のフレンチWithプロジェクションマッピング』です。このプロジェクションマッピングでは、お客さまが料理を召し上がる際に感じる期待感・高揚感・多幸感を増幅するような演出を心がけました。

オリジナルキャラクターである「ミーケ」たちは、この三井港倶楽部という歴史ある洋館に住む妖精という設定で、ここの歴史や、料理のサービスと連動したライブクッキング、音と映像を楽しめるスペシャルバンドショーを繰り広げ、360度の壁面、各テーブルも活用した幻想的な光と音のエンターテインメントショーを展開します。

料理は、監修にあたる坂井シェフの下、フランス料理最高峰の称号の一つであるエスコフィエを持つ波多江優貴料理長による、地元福岡や佐賀、熊本などの食材をふんだんに取り入れた芸術的なフランス料理をプロジェクションマッピングに合わせてご提供します。大牟田市内には、このような先進的なメディアアートを

体験する場は他になく、「レトロな食の美術館」と現代アートを融合し、新たな食事体験をお客様に提供する」という観光コンテンツが、今後大いに注目を集めるのではないかと期待しています。



プロジェクションマッピングに登場するミーケ

インバウンド需要への期待 大牟田市の地方創生、観光の起点に

まだスタートしたばかりですが、旅行会社など各方面からお問い合わせをいただいています。インバウンド需要で脚光を浴びているお隣柳川と合わせた観光コースなどもできればと考えているところです。

どれだけ良いコンテンツであっても「点」での活動では限りがあります。自治体や各観光コンテンツ、金融機関が持つネットワークなどを駆使して「面」での観光戦略が生まれれば、より可能性が広がるのではないかと模索しています。

大牟田市は県境にあることから、福岡県のみならず熊本県、佐賀県も巻き込んでのインバウンド需要がさらに期待できると思っています。大牟田市にはもともと三池港の「光の航路」など視覚訴求力の高いコンテンツが存在しています。周辺の魅力的な観光地とも連動しながら、「三井港倶楽部」を起点とした大牟田市を挙げての地方創生の一助となれば幸いです。



三井松島ホールディングス 株式会社

■本社所在地：福岡市中央区大手門一丁目1番12号 大手門パインビル10F・11F

■電話番号：092-771-2171

■設立：1913年

■グループ事業：日本ストロー株式会社、株式会社明光商会、株式会社ケイエムティ、株式会社システック
キョーワ、MOS株式会社、CST株式会社、三生電子株式会社、日本カタン株式会社、株式
会社プラスワンテクノ、株式会社ジャパン・チェーン・ホールディングス、株式会社エム・アール・
エフ、MMエナジー株式会社、三井松島リソース株式会社、株式会社大島商事、港倶楽部
オペレーションズ株式会社



三井港倶楽部

三井港倶楽部について詳しくはこちら▶



■所在地：福岡県大牟田市西港町2-6

■電話番号：0944-51-3710(電話受付時間10:00~21:00)

■定休日：月曜日・火曜日(祝日の場合は翌日)、特定日(不定)

■営業時間：Lunch／12:00~15:00(ラストオーダー 14:00)

Dinner／18:00~21:00(ラストオーダー 20:00)

※Dinnerは前日17:00までに要予約

